

事業成果報告書

1. 教育委員会名 : 山梨市教育委員会
2. 研究主題 : 小規模校のメリットを最大化させる方策
3. 研究タイトル : タブレット端末の教育利用による統廃合課題の改善について
4. 研究課題 :
 - ・コミュニティ・スクール導入に向けての研究・協議
 - ・統廃合に伴う学校施設の計画的な利用及び地域人材の積極的な活用
 - ・ICT機器の活用による会議資料等の精選及び効率化への対応
 - ・アクティブ・ラーニングによる地域のよさや伝統・文化等を実感できるカリキュラムの開発
 - ・タブレット端末の活用による家庭学習の習慣化と効果的な学習方法への対応

5. 事業の実績

(1) 調査研究のねらい

各学校におけるこれまでの地域とのつながりや関わりを新たな学習理念や学習方法により、教育的財産として継承していくとともに、統廃合によって充実・充実となるICT機器を積極的に活用し、学校の事務負担の軽減を図り、教育効果の一層の向上を目指す。その具体的な対応として、以下の3つの展開によるアプローチを考えている。

- ①地域連携や学校支援の核となるコミュニティ・スクールの導入
- ②タブレット端末を活用による会議資料の精選及び会議時間の短縮
- ③地域を題材としたアクティブ・ラーニングの開発

(2) 調査研究の実施状況（平成27年度）

7月	コミュニティ・スクール導入に向けての先進校視察 コミュニティ・スクールに関する学習会（講師招聘）
8月	コミュニティ・スクール導入に向けての情報収集 地域のよさを活かしたアクティブ・ラーニングについて研究
9月	コミュニティ・スクール推進委員会の組織及び実施計画の検討 統合準備会において統廃合課題について検討
10月	コミュニティ・スクール推進委員会を開催し、方向性の確認 学校支援や地域連携にかかわる状況の把握（学習環境調査） タブレット端末の活用について有識者から意見聴取
11月	統合前の各学校のICT機器の台数や状況を確認 タブレット端末を活用した学習テーマやイメージ及び内容の検討 タブレット端末を活用した授業実践(大学生ボランティアによる技術支援)
12月	活力ある学校教育推進会議を組織し、事業内容の確認 タブレット端末の活用による会議時間の短縮及び会議資料の精選について提案 タブレット端末を活用した授業実践(大学生ボランティアによる技術支援)
1月	ICT機器活用先進校の視察 タブレット端末を活用した授業提案 タブレット端末の活用による会議時間の短縮及び会議資料の精選についての検討
2月	タブレット端末を活用した授業提案 統合前の各学校のICT機器の台数や状況について集約 アクティブ・ラーニングに関する学習会（講師招聘） タブレット端末の活用による会議時間の短縮及び会議資料の削減に関して成果の検証方法と今後の方向性の確認
3月	笛川小（牧丘第一小）へのICT機器の配置計画提案 卒業式・閉校式等の撮影による学習素材の蓄積 新設校へのICT機器の移設

6. 事業の成果

(1) 研究課題に応じて設定した具体的目標に対する達成状況

・「コミュニティ・スクール推進委員会」及び「活力ある学校教育推進会議」の設置による学校運営協議会の設置に向けた準備と情報収集（含む先進校視察）及び今後の研究内容の検討。
・タブレット端末を活用した、地域を題材としたアクティブ・ラーニングのカリキュラム開発に向けての、地域素材（閉校となる学校、学区の様子の画像、動画及び音声）の蓄積。
・タブレット端末を活用した授業実践により、基本操作についての技能の獲得。
・タブレット端末の活用による会議時間の短縮及び会議資料の削減に関して現状の確認、削減目標の設定および成果の検証方法についての確認
・電子黒板等の配備状況の確認と4校が1校（笛川小学校）に統合することにより充実するICT機器の配置計画の作成。

(2) 成果物等

平成27年度「少子化・人口減少に対応した活力ある学校教育推進事業」事業報告書

(3) 今後の取組予定

新たな学校（山梨市立笛川小）としての開校に当たり、市内初のコミュニティ・スクールの導入を予定している。前年度までにまとめたICT機器の配置計画をもとに、新設校において有効な活用環境を整える。また、統合前に各学校の様子や地域のよさを計画的に記録してきたデータを活用してのアクティブラーニング、会議時間の短縮や会議資料の精選、学校運営協議会や学校支援組織の活動の機会にタブレット端末の効果的な活用を図り、並行して成果と課題について分析していく。